

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-1-3		事業名	多自然川づくりの推進
担当	建設局下水道河川部河川事業課 村上 818-3414			
全 体 計 画				
事業内容	河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息環境及び多様な河川景観を保全・創出する多自然川づくりを行う。 札幌市河川環境基本計画 今後の環境整備の指針となる計画を、18年度の「さっぽろ地域川づくり座談会」でまとめられた提言を基に、パブリックコメント等により市民意見を取り入れ、策定する。 多自然川づくり 22年度までに優先的に整備する吉田川、西野川、藤野沢川において、市民参加型の手法を取り入れ、多自然川づくりを行う。		<年度別の事業内容>	
			19年度	札幌市河川環境基本計画の検討 多自然川づくり(吉田川、西野川、藤野沢川)
		20年度	札幌市河川環境基本計画の策定 多自然川づくり(吉田川、西野川、藤野沢川)	
		21年度	多自然川づくり(西野川、藤野沢川)	
		22年度	多自然川づくり(西野川、藤野沢川)	
事業内容 量 場 所 規 模 件 数 等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	札幌市河川環境基本計画 ・有識者による検討会開催(4回) 多自然川づくり 吉田川 ・現地見学会及び意見交換会の実施 ・吉田川環境整備計画の策定 西野川 L=0.05km ・河道整備 藤野沢川 ・散策路(管理用通路)整備		札幌市河川環境指針(名称変更) ・有識者による検討会開催(5回) ・パブリックコメント、シンポジウムの実施 ・札幌市河川環境指針策定 多自然川づくり 吉田川 L=0.16km ・親水施設(広場、散策路等)整備 西野川 L=0.13km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備 藤野沢川 L=0.07km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	多自然川づくり 西野川 L=0.15km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備 藤野沢川 L=0.12km ・河道整備		札幌市河川環境指針 ・河川環境推進会議の開催(2回) 多自然川づくり 西野川 L=0.02km ・河道整備 ・散策路(管理用通路)整備	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-3			事業名	多自然川づくりの推進		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
多自然川づくり整備延長	4.7km	4.8km	5.1km	5.4km	5.5km	5.5km	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 札幌市河川環境指針の策定にあたり、「札幌市河川環境基本計画検討会」及び「さっぽろ地域川づくり座談会」を公開で開催するとともに、ワークショップやシンポジウムを実施して延べ約200名の市民参加とパブリックコメントの実施で約30件の市民意見があった。その他市民アンケートや河川活用団体へのヒアリングを実施しており、これの実施により、市民参加や市民意見の募集・反映、情報提供などを行っている。また、多自然川づくりでは、現地見学会やワークショップなどの意見交換会などを実施し、市民意見を反映しながら、環境整備計画の策定を行っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] 「(該当なし)」 [情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 検討会や座談会の傍聴、現地見学会、意見交換会への参加については、インターネットホームページや地域の回覧板を用いて広く周知する等、誰もが参加しやすいしくみとなっている。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>札幌市河川環境指針 指針に基づき、河川環境推進会議の設置を決定した。 多自然川づくり 西野川・藤野沢川において多自然川づくりにより河道整備等を実施した。</p>				<p>多自然川づくり 環境整備計画の策定や整備の実施の際に、市民意見を取り入れて行っているが、より多くの市民意見を取り入れるために、市民参加者の増加や河川環境への関心を高める取組を、これまで以上に推進する必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>今後の河川整備に際しては、市民との協働を進めるとともに、21年3月に策定した札幌市河川環境指針に基づき行うことにより、自然と人がふれあえる豊かで親しみのある水辺を保全・創出していく。 また、札幌市河川環境指針の推進にあたって、この指針の適切な運用および今後の整備のあり方などを検証するために、専門家や市民等と札幌市で構成する「札幌市河川環境推進会議」を定期的開催していく。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-1-3		事業名		多自然川づくりの推進		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	163,600	232,400	105,000	81,000	582,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	104,000	132,000	70,000	54,000	360,000		
	市の債	46,000	59,000	31,000	24,000	160,000		
	その他の他	0	0	0	0	0		
一般財源	13,600	41,400	4,000	3,000	62,000			
予算	事業費	163,600	203,000	156,000	69,000	591,600		
	財源内訳							
	国・道支出金	104,000	108,000	104,000	46,000	362,000		
	市の債	46,000	48,000	46,000	20,700	160,700		
	その他の他	0	0	0	0	0		
一般財源	13,600	47,000	6,000	2,300	68,900			
実績	事業費	183,508	165,431	113,400	-	462,339		
	財源内訳							
	国・道支出金	114,600	86,000	75,600		276,200		
	市の債	51,000	38,000	34,020		123,020		
	その他の他	0	0	0		0		
一般財源	17,908	41,431	3,780		63,119			
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)					91.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度] 西野川において、地権者との交渉により用地取得を次年度に変更したため								
[21年度] 西野川において、河川の指定区間変更の必要が生じ、その後用地取得をする運びとなったため								
[22年度]								